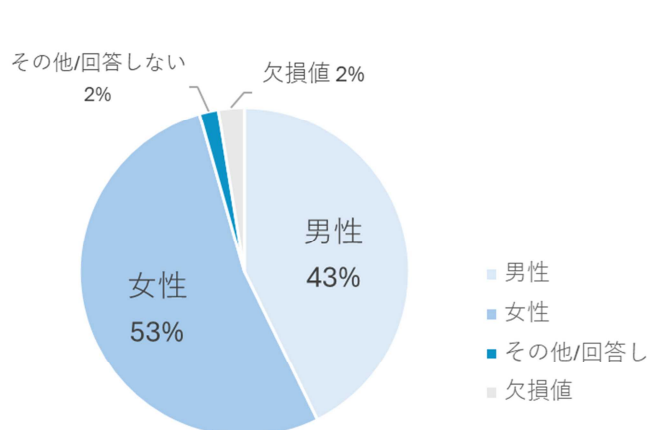


令和 6 年度 市民アンケートの調査概要

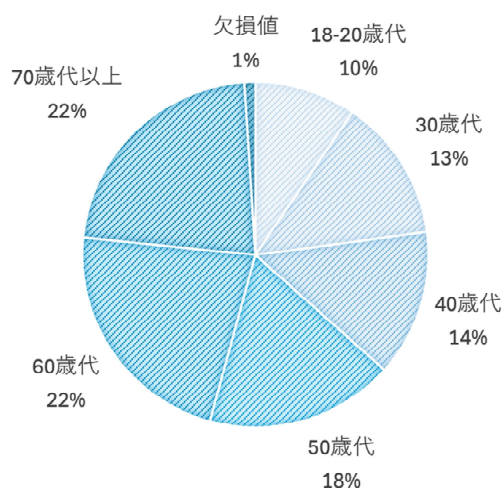
調査時期	令和 6 年 10 月～11 月
調査方法	郵送による配付・回収
調査対象	18 歳以上の市民 2,000 人（無作為抽出）
回答者数	590 人（回収率 29.5%）

i 回答者の属性

回答者のうち、男性は43%、女性は53%であった。年代別では、70歳代以上と60歳代が22%と最も多く、年代が低いほど回答の割合が低かった。最も少なかったのは、18 - 20歳代の10%であった。

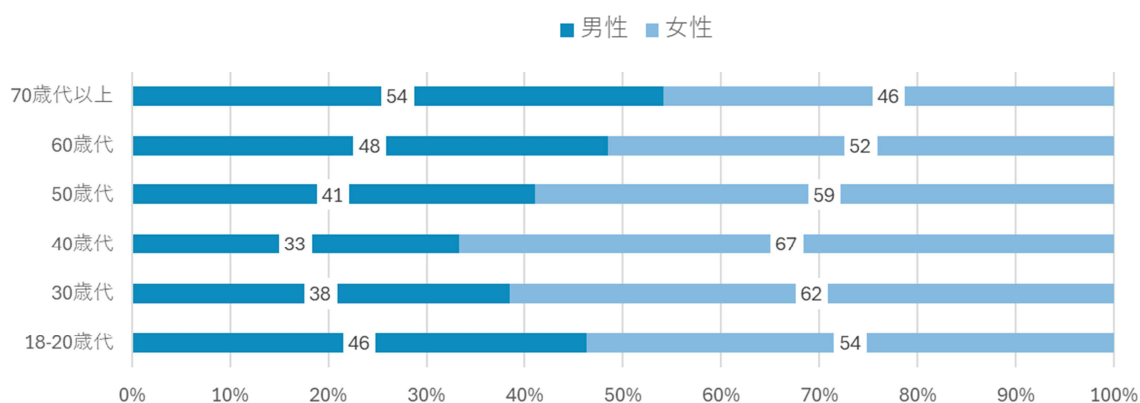


	%	度数
男性	43	252
女性	53	312
その他/回答しない	2	11
欠損値	3	15
合計	100	590



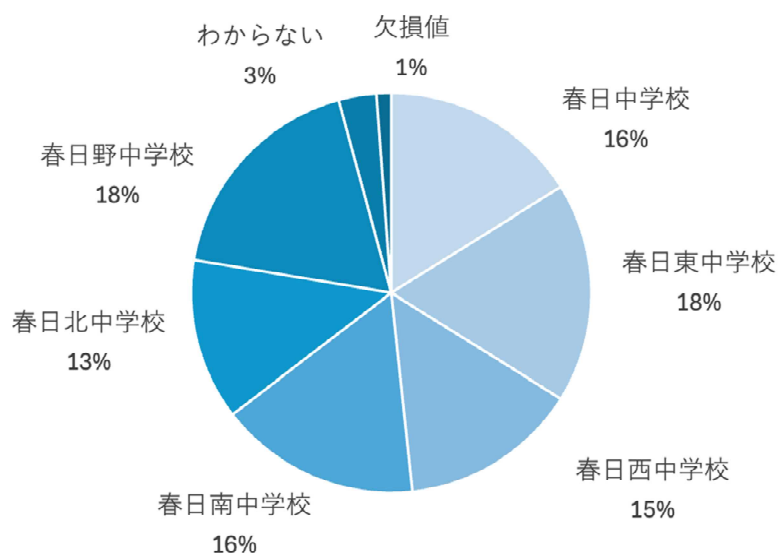
	%	度数
18-20歳代	9	56
30歳代	13	79
40歳代	14	81
50歳代	18	104
60歳代	22	132
70歳代以上	22	132
欠損値	1	6
合計	100	590

回答者は、全ての年代で男性よりも女性の方が上回っていた。



<回答者の中学校区>

中学校区ごとの回答者の割合は、ほぼ均等であった。



	%	度数
春日中学校	16	95
春日東中学校	18	105
春日西中学校	14	85
春日南中学校	16	96
春日北中学校	13	77
春日野中学校	18	107
わからない	3	18
欠損値	1	7
合計	100	590

ii 春日市議会に対する期待

春日市議会への期待の項目として、関心の程度については、「強くそう思う」「ある程度そう思う」「少しそう思う」を選んだ人が75%で、比較的多くの人が市議会に関心を持っていることがわかった。

また、満足の程度を尋ねたところ、「強くそう思う」を選択した人はいなかったが、「ある程度そう思う」と「少しそう思う」を選択した人が75%であり、比較的満足を得られているといえる。

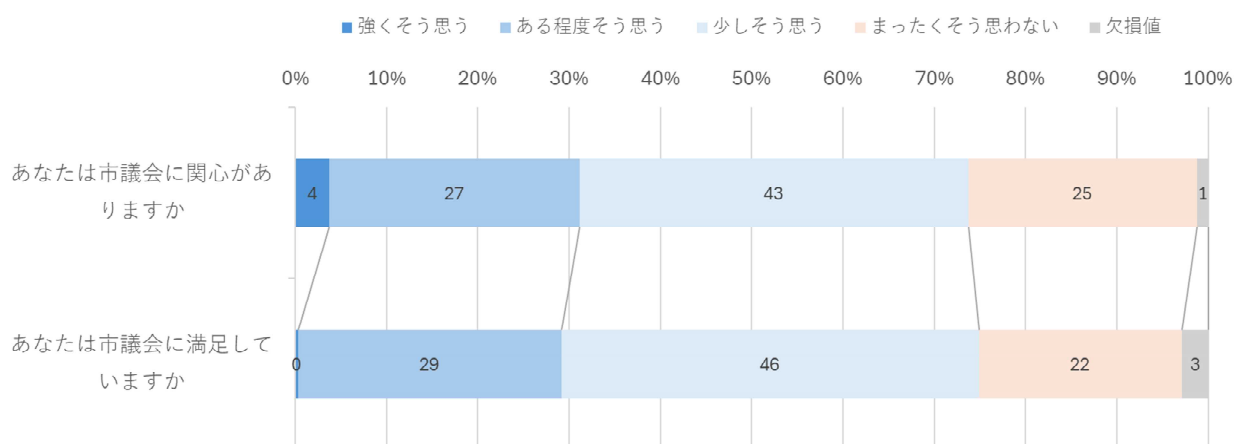


図 市議会への関心と満足度

<市議会の情報源>

市議会の情報をどのように得ているかについて尋ねた結果、最も選択者数が多かったのは、「議会だより」で、次に「特に情報を得ていない」であった。

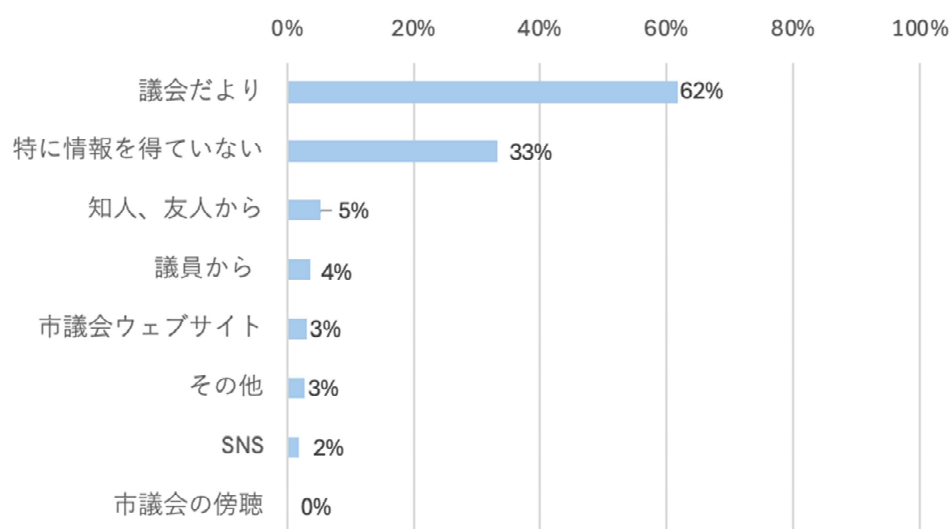


図 市議会の情報を得ている方法（複数選択可）

<市議会への期待>

市議会に期待する活動として、最も選択者数が多かったのは、「地域の課題解決」で、次に「市民の意見をよく聞く」、「市行政のチェック」の順であった。

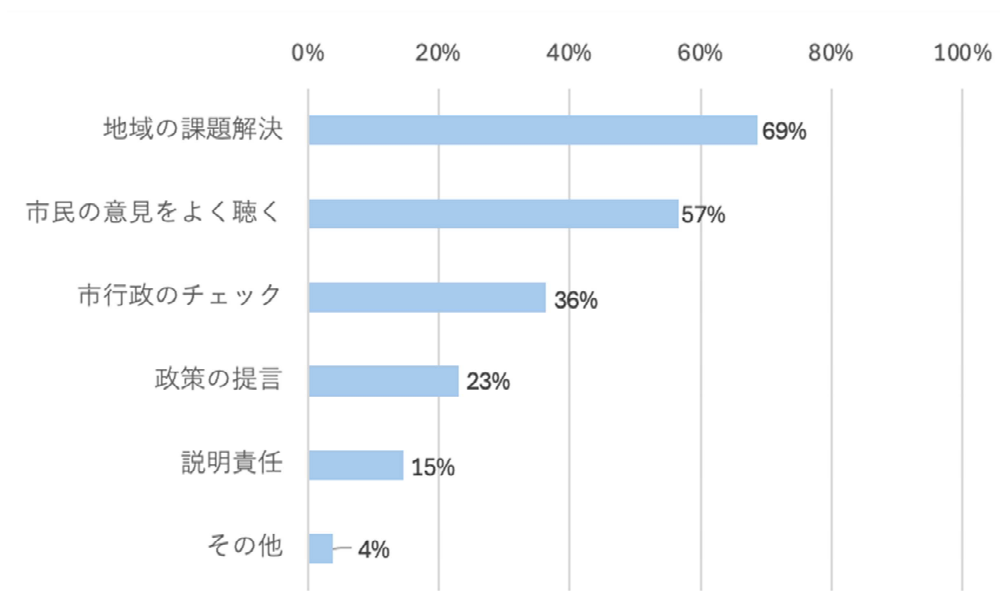


図 市議会に期待する活動 （複数選択可）

iii 市議会議員に対する期待

<春日市議員について>

市議会議員を知っている程度と相談の方法について尋ねた結果、よく知っているは2%（11人）と少なく、話をしたことがあるは12%（68人）、名前だけは知っているが46%（274人）、まったく知らないと回答した人は40%（234人）であった。

また、議員に相談する手段として、最も希望が多かったのは、「直接話す」であり、次に「LINEなどのSNSツール」、「電子メール」の順であった。

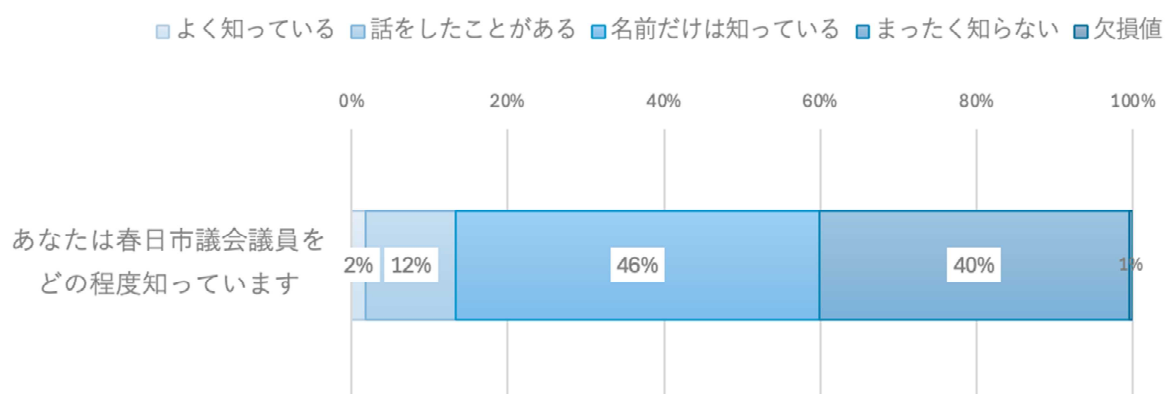


図 議員を知っている程度

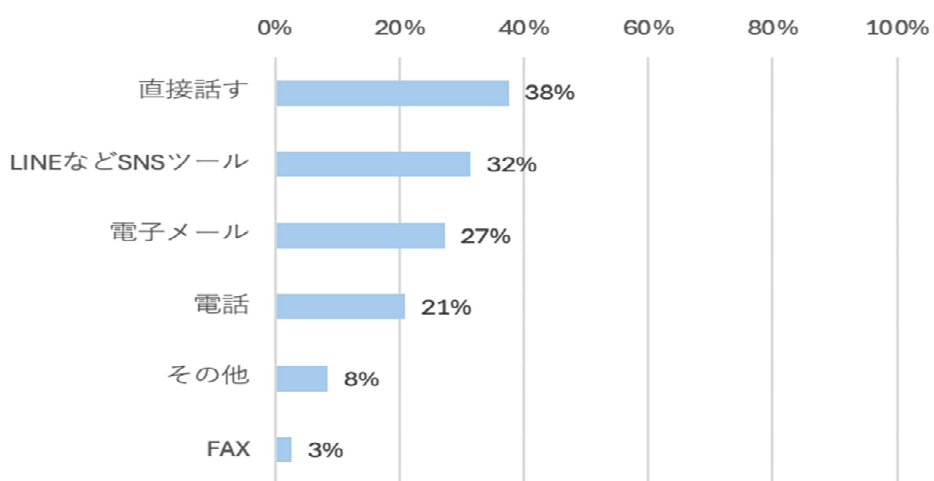
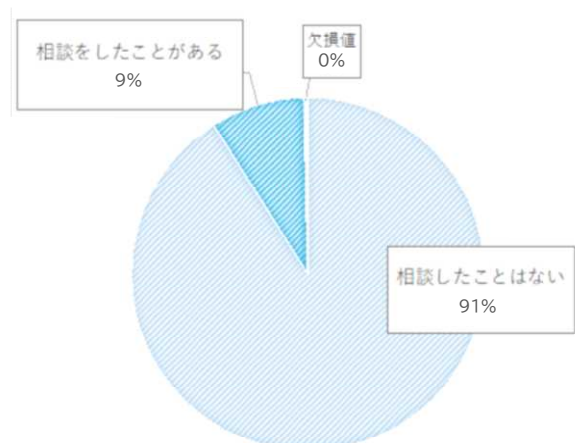


図 議員に相談する手段（複数選択可）

<議員への相談経験>

これまでに市議会議員に相談をしたことがあるかを尋ねた結果、「相談したことがある」を選択したのは、9%（51人）、「相談したことはない」を選択したのは91%（537人）であった。

また、相談したことがないと回答した人に、相談しなかった理由を尋ねた結果、「意見や要望が特にない」、「手段がわからない」、「知っている議員がいない」の順であった。



一方、相談したことがある人に、相談した時の手段を尋ねた結果、「直接話す」が最も多く、次に「電話」であった。

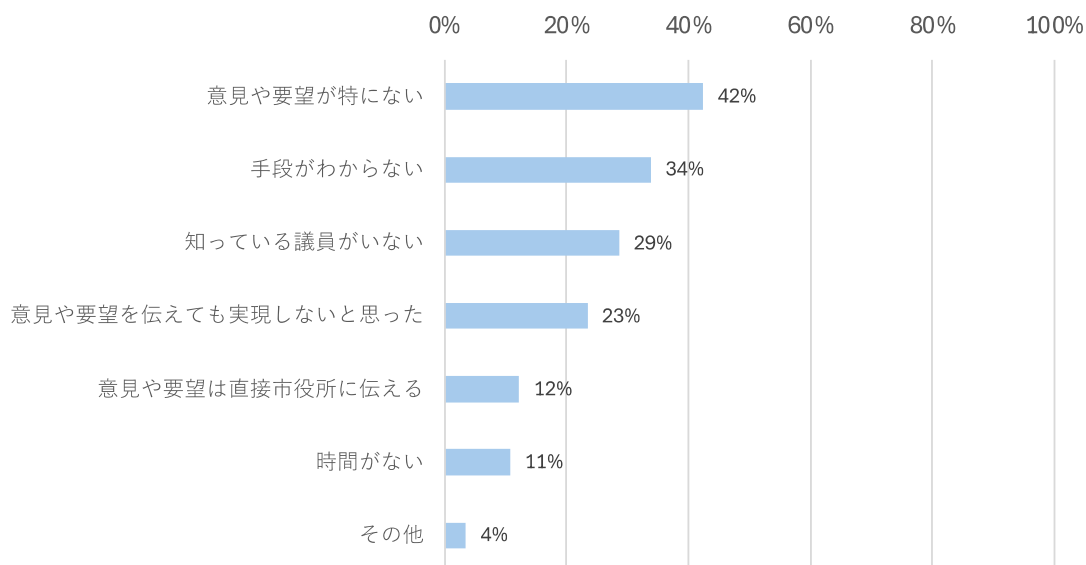


図 相談したことがない人が“相談しなかった理由”（複数選択可）

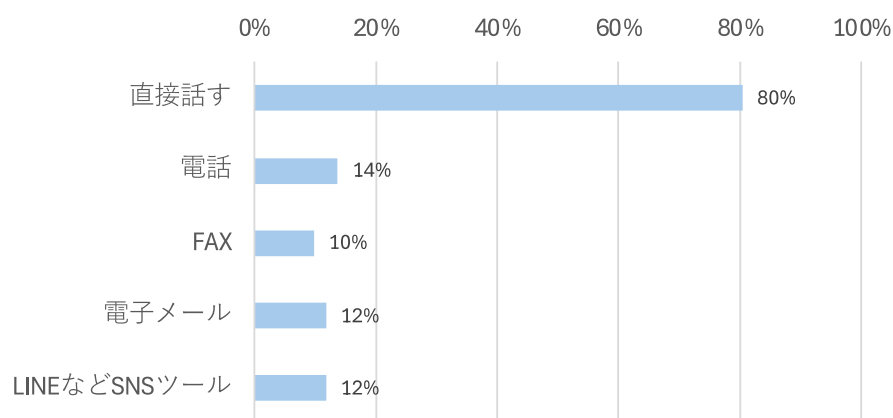


図 相談したことがある人が“相談した時の手段”（複数選択可）

iv 議会の公開広聴について

<春日市議会の本会議傍聴>

これまでに春日市議会の本会議を傍聴・視聴したことがあるかを尋ねた結果、94%（561人）が「ない」と回答した。

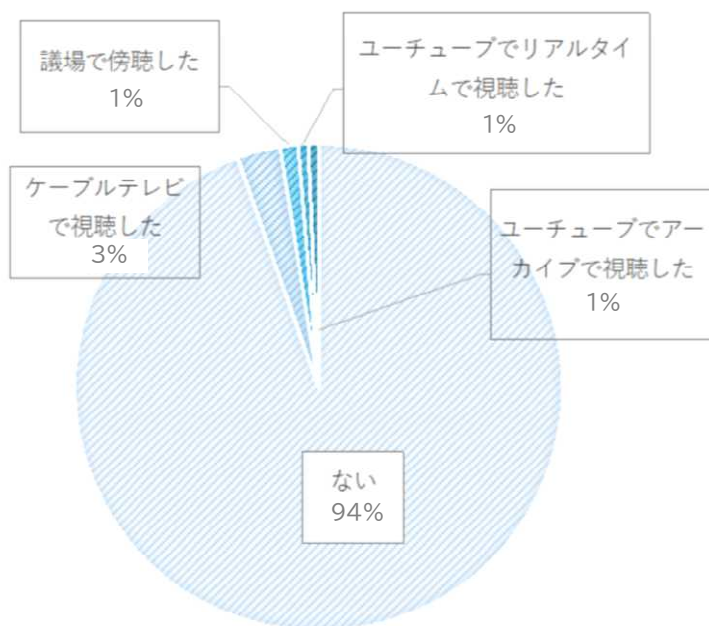


図 議会の傍聴経験の有無および手段（複数選択可）

本会議を傍聴・視聴したことがないと回答した人に、その理由を尋ねた結果、「特に理由はない」、「傍聴・視聴する時間がない」、「市議会に関心がない」の順で多かった。

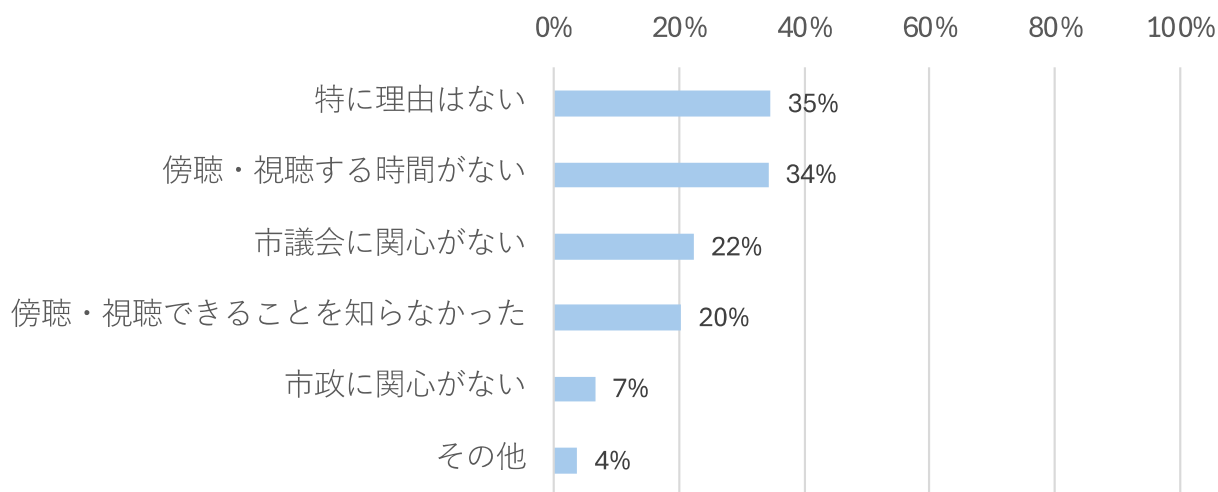


図 傍聴・視聴したことのない理由（複数選択可）

本会議の傍聴・視聴について尋ねた結果、「傍聴できることを知らなかった」を48%（284人）が選択した。一方、「議場で傍聴できる」ことは41%（243人）、「ケーブルテレビで視聴できる」ことは16%（95人）が知っていたが、ユーチューブで視聴できることは、あまり知られていなかった。

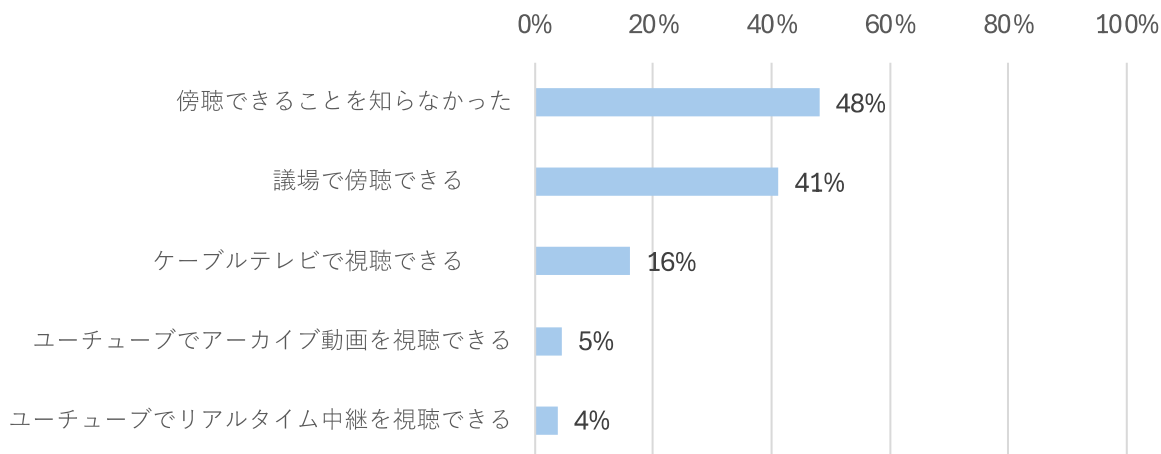


図 議会の傍聴機能の認知（複数選択可）

市議会や意見交換会への参加意向については「夜間や休日に市議会が開催されれば傍聴したい」か、という問いに対して、「強くそう思う」、「ある程度そう思う」、「少しそう思う」を選択した人は全体の52%であった。

また、市議会が出張して意見交換会を実施する場合に参加したいかを尋ねた結果「強くそう思う」、「ある程度そう思う」、「少しそう思う」を選択した人は全体の61%であった。このことから、市民は市議会（本会議）よりも、意見交換会に関心を持っていることがわかった。

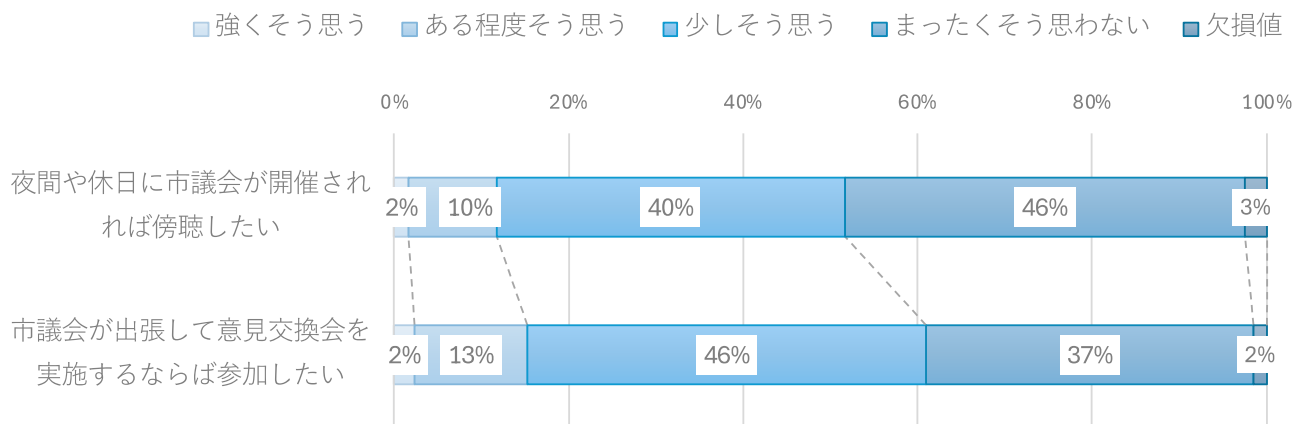


図 議会の傍聴と意見交換会の期待度

<意見交換会に関して>

意見交換会に参加するにあたり、何を重要視するかを尋ねた結果、「テーマ」、「開催時期」、「場所」の順であった。

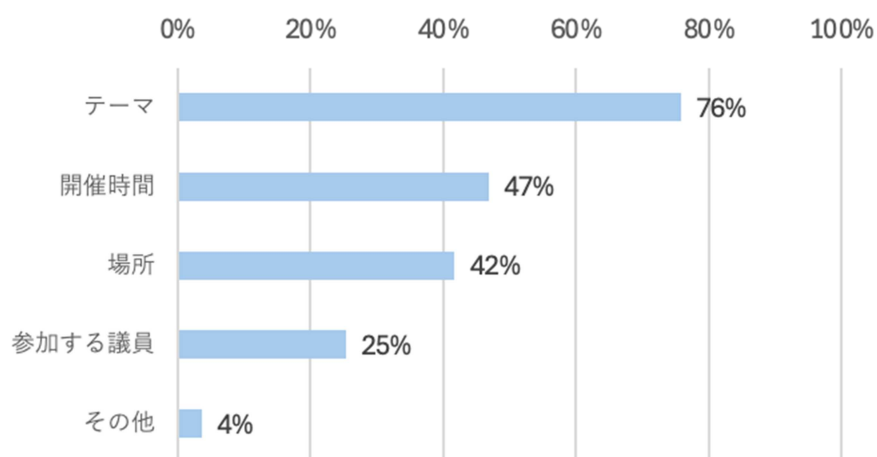


図 意見交換会について重要視する点（複数選択可）

また、市議会が出張して意見交換会を実施するならば、場所はどこがよいかを尋ねた結果、「地区公民館」、「ふれあい文化センター」、「学校」の順で多かった。

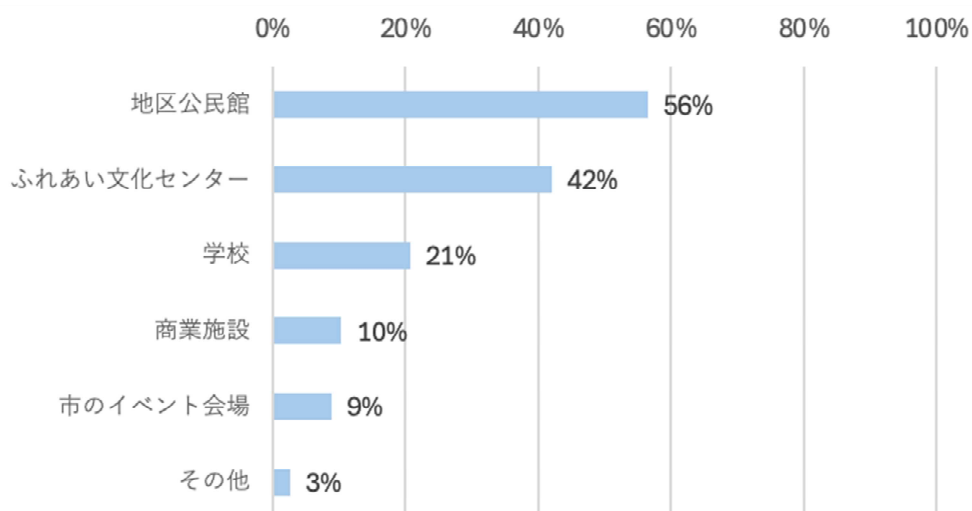


図 意見交換会の開催会場（複数選択可）

v 議会の広報について

<議会だより>

「議会だより」（年4回発行）をどの程度読んでいるかを尋ねた結果、「ときどき読んでいる」54%、「必ず読んでいる」10%、「よく読んでいる」13%をあわせて77%と、比較的読まれていることがわかった。

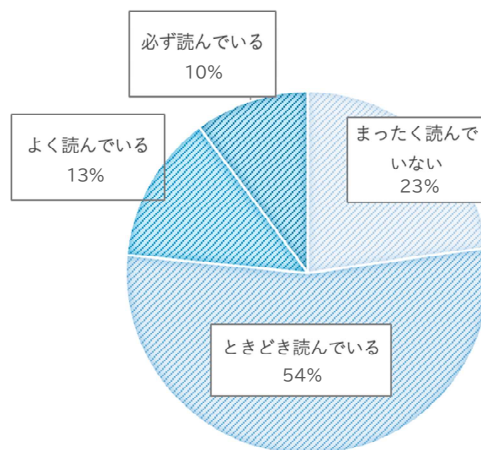


図 議会だよりの閲覧状況

議会だよりを「まったく読んでいない」を選択した132人にその理由を尋ねた結果、「議会に関心がない」、「存在を知らなかった」、「内容がつまらない」の順が多かった。

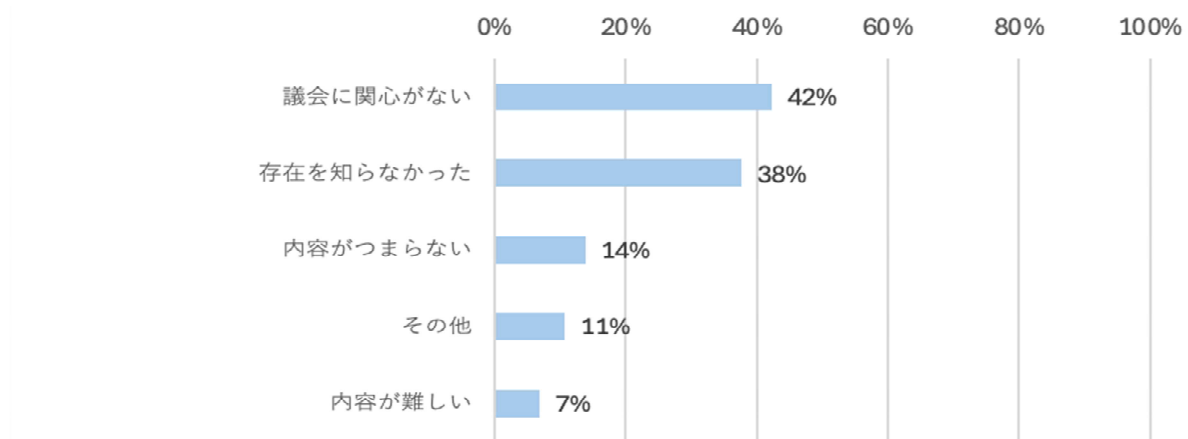


図 閲覧しない理由（複数選択可）

議会だよりを充実させるために、どのようなことを望むかを尋ねた結果、「説明を簡単にしてほしい」、「写真や図をたくさん使ってほしい」、「説明を詳しくしてほしい」の順が多かった。

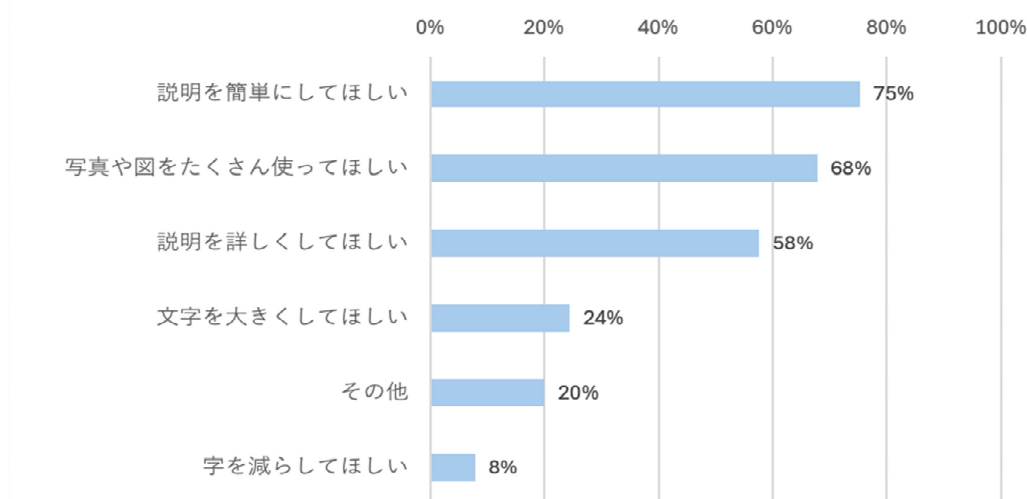


図 議会だよりに関する要望（複数選択可）

春日市議会のウェブサイトについて、閲覧したことがあるかを尋ねた結果、85%（501人）が「まったく見ていない」を選択し、「ときどき見ている」が12%（72人）、「よく見ている」が1%（4人）であった。

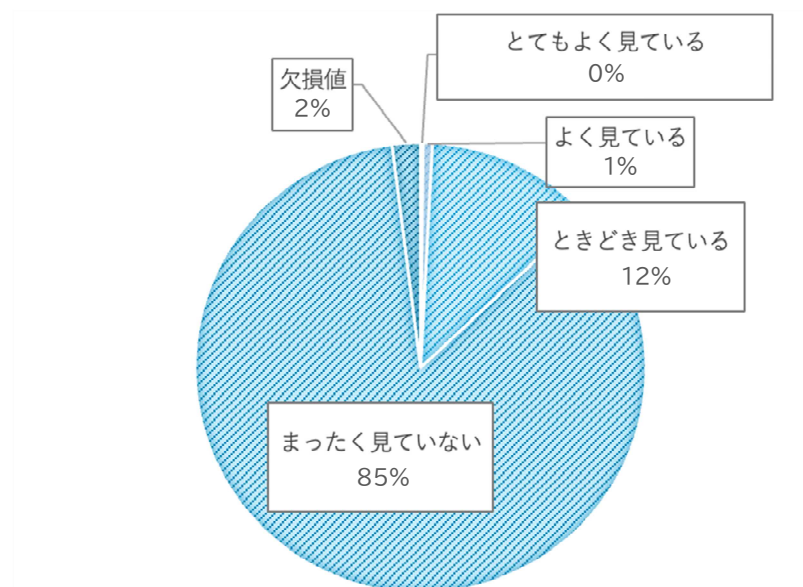


図 市議会ウェブサイトの閲覧状況

春日市議会のウェブサイトは使いやすいと思うかを尋ねた結果、「わからない」の回答者が69%（408人）、「ある程度そう思う」が11%（66人）、「少しそう思う」が9%（52人）であったことから、ウェブサイトの使いやすさはある程度認められているが、まだ見ていない人が多いことがわかった。

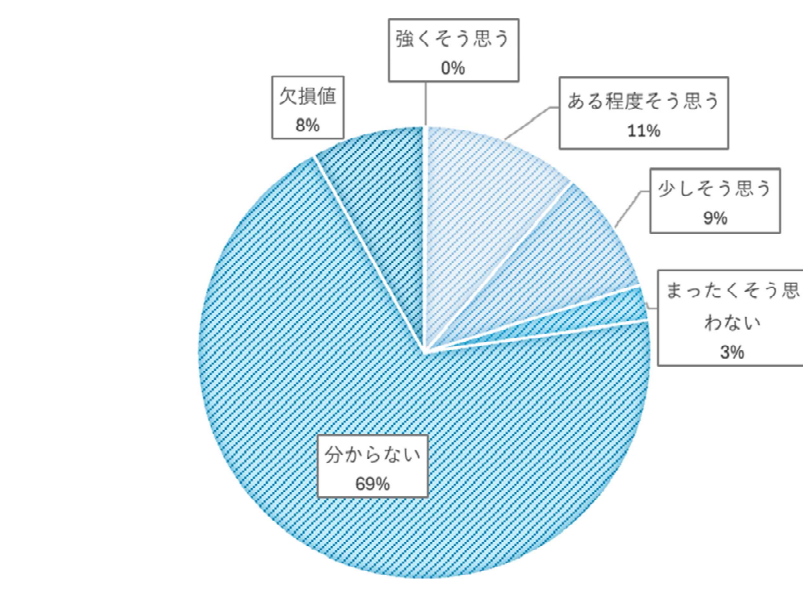


図 市議会ウェブサイトの利便性

vi 市議会や市政について

春日市の市議会や市政についての評価を尋ねた。

「強く思う」「ある程度思う」「少し思う」の3つを選択した回答者の割合を肯定率としてその数値をみると、「応援したい議員がいる」以外はすべて、70%を超えていたことから、市議会や市政に対してある程度の評価がなされているといえる。しかしながら、「議会が何をしているかわからない」の肯定率は84%と高いことから、市議会のことを今後も伝えていく必要があることがわかった。

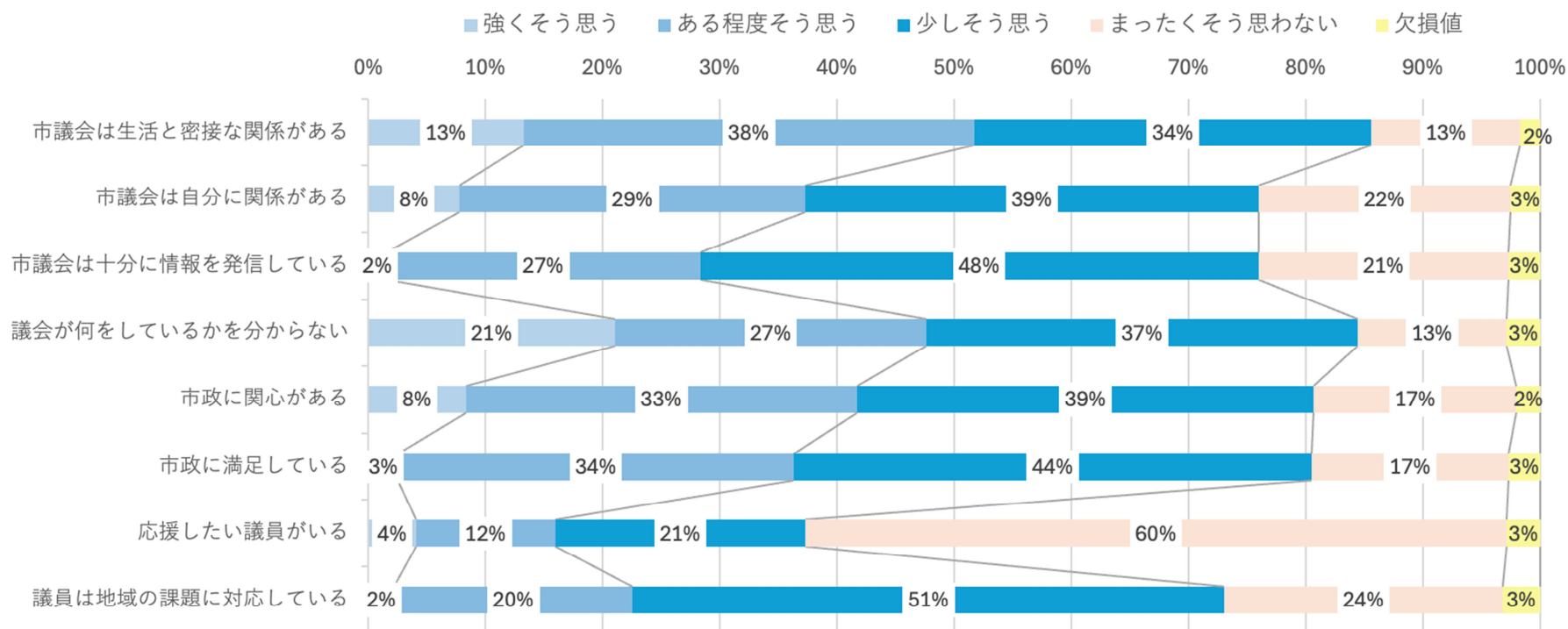


図 市議会や市政に対する評価

市議会へのその他の評価について、択肢に「わからない」を含めた結果、全体的に肯定率が低くなった。それを考慮しても、各問の肯定率は、52～59%となっており、市民の半数から肯定的に評価されているといえる。

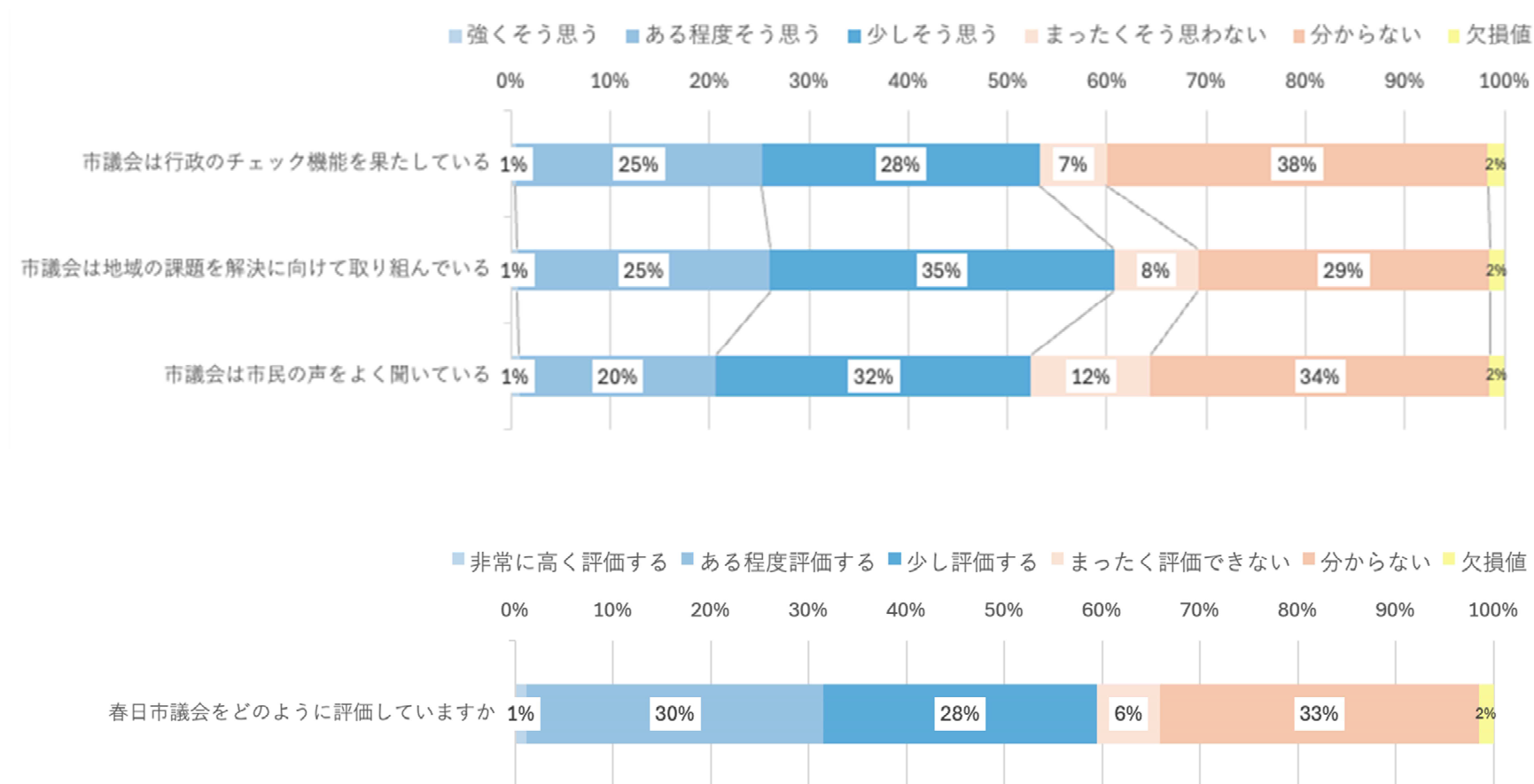


図 市議会への評価